

緑の将来像を実現するためには、広域的な視点から入間市の緑の位置付けを認識したうえで、緑のまちづくりを進めていく必要があります。

本市が位置する県の西部は、秩父山地と関東平野の境界部であり多くの丘陵と台地があります。そのなかの加治丘陵と狭山丘陵が本市の南北に位置しています。また、秩父山地を源流とした入間川は丘陵地や台地の間を流れ、荒川と合流し東京湾へとつながっています。



出典：国土交通省 地形分類図 CC ライセンス表示 2.1 日本 (<http://creativecommons.org/licenses/by/2.1/jp/>)、データカタログサイト利用規約 (<http://www.data.go.jp/terms-of-use/terms-of-use/>)

国土交通省 国土数値情報（河川、行政区域）をもとに編集・加工

図 2-〇 入間市の緑の広域的な位置付け

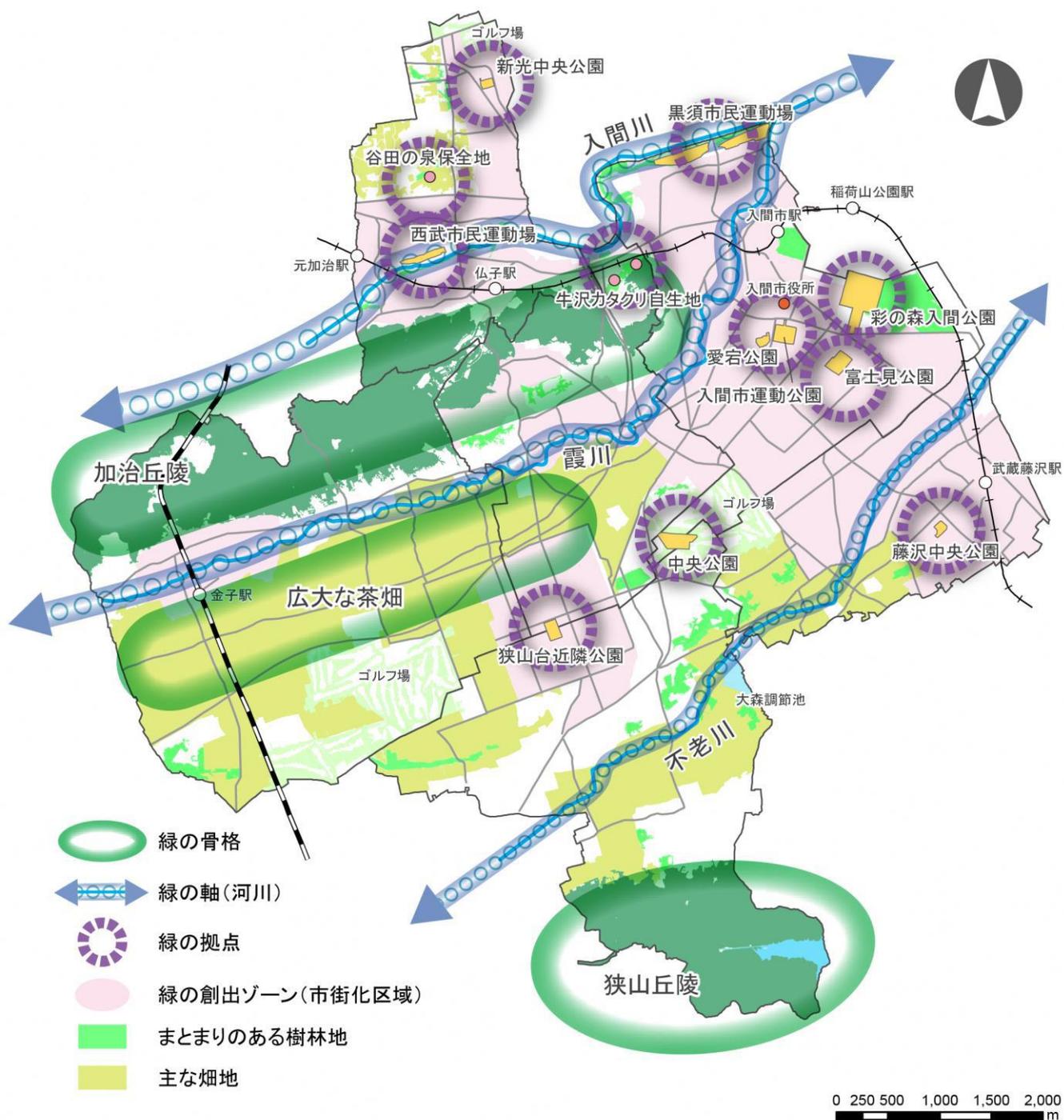


図 2-1 緑の将来像図